

くらしき  
マメ得知識

### 竜王戦 幻の勝負メシ・勝負スイーツ



昨年行われた将棋の「第34期竜王戦」七番勝負。その第5局は倉敷市玉島地区の円通寺で行われることになっていました。藤井聡太三冠(当時)が4連勝し、幻の対局となりましたが、そのとき提供予定だった料理が「竜王戦 幻の勝負メシ・勝負スイーツ」。両棋士を応援しようと、地元玉島を代表する店舗が腕によりをかけて用意した、玉島の魅力が詰まったメニューです！

市内各地区の飲食店や土産物店などを紹介するグルメガイドブック「倉敷食さんぽ」に掲載されています。





**歴史と文学のまち、真備**

奈良時代の偉人「吉備真備公」ゆかりの地であり、作家・横溝正史が、名探偵「金田一耕助」を生み出したまち。

**果物と花のまち、船穂**

温暖な気候と、高梁川の豊かな水を生かし、マスカットやスイートピーなどの栽培が盛んなまち。

**大原美術館**

倉敷の実業家・大原孫三郎が、洋画家・児島虎次郎に託して収集した、西洋美術などを展示する日本初の私立西洋美術館。

**倉敷美観地区**

天領として栄えた時代の風情と美しい景観を色濃く残すまち。

**国産ジーンズ発祥の地、児島**

足袋・学生服・作業服と、繊維のまちとして発展し、日本で初めてジーンズを国産化しました。全国のジーンズファンからの注目を集めています。

**レトロな港町、玉島**

備中の玄関として栄えた港町で今でも当時の商家や土蔵が残っています。昭和レトロな商店街など、ノスタルジックな町並み散歩も楽しめます。

**水島コンビナート**

瀬戸内海に臨む、約2500haの空間に、250を超える事業所が立地する水島コンビナート。美しく光る夜景は「夜景100選」にも選ばれています。

倉敷って、こんなところ。

クラシキ文華新聞 Vol.28  
令和4年3月吉日発行  
【編集・発行】  
クラシキ文華新聞編集部  
(倉敷市くらしき情報発信課内)  
〒710-8565  
岡山県倉敷市西中 新田 640  
TEL 086-426-3061  
FAX 086-426-4095  
pubinfo@city.kurashiki.okayama.jp

WEBもチェック！  
**クラシキ文華**  
<https://citysales.city.kurashiki.okayama.jp/>  
クラシキ文華 検索  
倉敷市公式 Facebook  
<https://www.facebook.com/KurashikiCity>  
倉敷市公式 Instagram  
[https://www.instagram.com/kurashiki\\_city/](https://www.instagram.com/kurashiki_city/)

**編集後記**

今回は、大山康晴十五世名人などが集めた「将棋のまち倉敷」について紹介しました。いかがでしたか？

クラシキ文華新聞は、今回が最終号となります。これまで読んでいただきありがとうございました。今後は、市ティーセールサイト「クラシキ文華」で倉敷のさまざまな情報をお伝えしていきますので、よろしくお願ひします！（羽原・野口）

# クラシキ文華新聞

Vol. 28  
最終号

## 第28号発行のご挨拶



岡山県南部に位置する、倉敷市一。町家や古民家を利用した新たな観光スポットが次々と生まれている「倉敷美観地区」、日本初の私立西洋美術館である「大原美術館」、繊維産業を進化させ続けてきた「国産ジーンズ発祥の地・児島」など、歴史と伝統が常にアップデートされ、新しい文化が生み出されています。そんな、倉敷で華開く新しい文化「クラシキ文華」の魅力をお伝えする『クラシキ文華新聞』第28号をお届けします。ぜひ、ご一読ください。

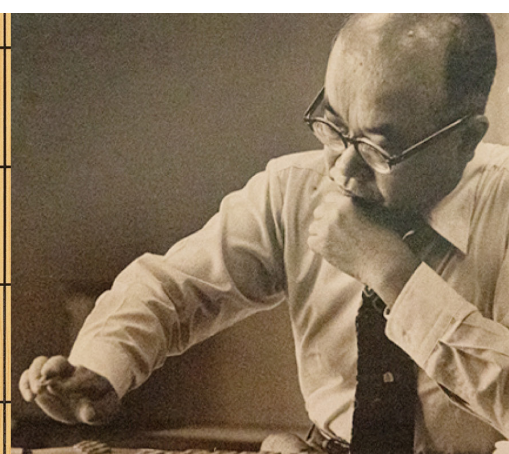





偉人の功績を未来につなげる

将棋の倉敷

特集




## 「将棋のまち」たるゆえんを築いた、大山康晴十五世名人の足跡をたどる

将棋とゆかりの深いまち、倉敷。その礎を築いたのが、1923(大正12)年に倉敷で生まれた大山康晴十五世名人(以降、大山名人)です。倉敷美観地区のほど近くには、大山名人の功績をたたえる「倉敷市大山名人記念館」があり、数々の優勝カップや大山名人が揮毫した掛け軸、愛用していた将棋盤やトレードマークの眼鏡など、貴重な資料を展示。将棋のまち・倉敷のシンボルとして、広く親しまれています。

大山名人は29歳で名人位を獲得。公式タイトル獲得80期(歴代2位)、一般棋戦優勝44回(歴代2位)、通算1433勝(歴代2位)、5つの永世称号(十五世名人、永世十段、永世王位、永世棋聖、永世王将)を保持するなど、さまざまな偉業を成し遂げました。さらに、プロ棋士ランクの最上位であるA級に、69歳で亡くなるまで44期連続で在位(歴代1位)し、将棋史にその名を深く刻んだのです。





同時に大山名人は、将棋の普及活動にも力を入れていました。A級棋士でありながら日本将棋連盟の会長に就任した1976（昭和51）年頃からはひときわ熱心に取り組むようになり、地元・倉敷はもちろん、全国各地、海外に足を運ぶこともしばしば。企業や団体に将棋の普及発展の必要性を説いたり、アマチュア大会の審判長を務めたり、子どもたちに指導したりと、活動内容は実にさまざま。1990（平成2）年、将棋界としては初めてとなる文化功労者に選ばれました。その功績が広く認められた瞬間でした。



## 偉人の功績を未来につなげる取り組み

1993（平成5）年、「倉敷市大山名人記念館」の設立と時を同じくして、女流タイトル戦の「大山名人杯倉敷藤花戦」、1995（平成7）年には「小学生王将戦」（現在は、各県の代表が集う「大山名人杯争奪全国小学生倉敷王将戦」）の開催が始まりました。「全国小学生倉敷王将戦」には幼い日の藤井聡太五冠も参戦。小学3年生の時に低学年の部で優勝を果たし、「新進棋士奨励会」に入るきっかけになったといいます。また地方自治体がタイトル戦の主催となる例は全国的にも他に例がなく、将棋のまち・倉敷たるゆえんを感じさせます。

倉敷では将棋大会だけでなく、将棋教室も盛んです。「倉敷市大山名人記念館」や「真備こども将棋教室」などでは、多くの人が将棋に親しんでいます。取材で訪れた「水島子ども将棋教室」には、「大山名人杯争奪全国小学生倉敷王将戦」で岡山県代表に選ばれた小学生や、女流棋士を目指す女子高校生など、実力者もたくさんいます。「倉敷市大山名人記念館の教室には、幼い頃、プロ棋士・菅井竜也八段（以降、菅井八段）も通っていましたよ」と、倉敷市大山名人記念館の館長・北村実さん。「プロとして活躍する菅井君から、ある日『自分も記念館で教室を開きたい』と申し出がありましてね。自身を育ててくれた地域に恩返ししたい、その思いからだったので。将棋が深く根付く文化・土壌があることは、とても大きな財産です」。

## 狩山幹生さんが倉敷で81年ぶりとなるプロ棋士に！

2021（令和3）年9月、将棋のまち・倉敷に明るいニュースが入ってきました。将棋のプロとして認められる四段に、倉敷市出身の狩山幹生さん（以降、狩山四段）が昇段。倉敷市出身のプロ棋士は大山名人以来81年ぶり、県出身では菅井八段以来11年ぶりの快挙です。狩山四段は、「将棋を始めたのは小学1年生の時、祖父に教えてもらったのがきっかけでした」と当時を振り返ります。そのおもしろさに魅了され、「強くなりたい、いろんな人と対戦したい」という思いが芽生え、小学2年生から倉敷市大山名人記念館の（こども）将棋教室や水島子ども将棋教室などに通い始めたといいます。「倉敷は将棋が盛んな地域で、将棋が強い同年代の仲間もたくさんいました。それに刺激を受け、自分自身ももっと強くなりたいと教室での実戦にも身が入っていました」。良き指導者にも恵まれ、時には菅井八段に教えてもらうこともあったそうです。

そうした日々の研鑽を積んだ結果、2010（平成22）年の小学3年生から4年連続で「全国小学生倉敷王将戦」（2012（平成24）年からは「大山名人杯争奪全国小学生倉敷王将戦」）に岡山県や倉敷市の代表として出場、2013（平成25）年、小学6年生の時には同大会の高学年の部で3位入賞、ほかにも各地の大会で成績を残していきました。2014（平成26）年、中学1年生で日本将棋連盟のプロ棋士養成機関「新進棋士奨励会」に合格。そして2021（令和3）年、四段昇段を決め、晴れてプロ棋士となったのです。

「プロ棋士になった時は、嬉しさ、驚き、安堵など、いろいろな感情が沸き上がりました」と狩山四段。2021（令和3）年12月に開催された、プロ初となる公式戦「第53回新人王戦」では白星デビューを飾りました。「プロになるまでに、多くの方にお世話になりました。活躍することで地域に恩返しをしたいですし、偉大な大山名人に少しでも近づけるようさらに努力したいです」。狩山四段は、そう言葉を締めました。



## クラシキ文華 特集記事

41 特集



## クラシキのイベント

### 2022 春 児島フェス #せんいさい

例年、児島地区で開催している春の恒例イベント。新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、従来のJR児島駅周辺から児島ジーンズストリート（味野商店街）一帯での開催を中止し、ジーンズや各種繊維関連ショップなどを巡る、分散型イベントとして開催します。また、特設ホームページで、児島の繊維製品や特産品などもオンライン販売します。

□期間…4月28日(木)～5月15日(日)

□ホームページ…<https://kojima-sanpo.jp/senisai/>

岡山県の西部を流れる高梁川。倉敷市をはじめとする10市町を擁し、県下最大を誇るその流域で、大学・企業・地域団体・自治体などと連携し、流域の自然や風土、歴史、文化、産業を教材とする体験学習を含む、さまざまな地域教育を実践する「高梁川流域学校」。

「誰一人取り残さない」地域を目指し、まちづくりと人材育成に取り組む高梁川流域学校と、地域密着型のSDGsプログラム「高梁川志塾」、そしてそれらに携わる人々の思いをレポートしました。



◀「繊維のまち 児島」PRキャラクター Gパンだ



市シティセールスサイト

クラシキ文華

もぜひチェックしてください！



歴史と伝統を大切に受け継ぎながらも、新しい暮らし、新しい文化が日々生まれ華開くまち倉敷市。市シティセールスサイト「クラシキ文華～倉敷のイトコ見つけにいこう。」では、倉敷らしい活動や暮らし、それを支える人々の思いを紹介した特集記事を多数掲載し、随時更新しています。

クラシキ文華～倉敷のイトコ見つけにいこう。

<https://citysales.city.kurashiki.okayama.jp/>



倉敷市の情報は、[Facebook](https://www.facebook.com/KurashikiCity) (https://www.facebook.com/KurashikiCity) でも紹介しています！